

平成25年1月18日
J R 北海道 函館支社

【厳寒期の踏切事故防止キャンペーン】の実施について

全道的に本格的な厳寒期を迎え、道路は積雪・凍結等により滑りやすく危険な状態になっています。これからさらに寒さが厳しくなり、凍結路面でのスリップ等による踏切事故の多発が懸念されます。

踏切事故は一度発生すると列車運休などの大きな輸送障害となるばかりでなく、お客様や踏切通行者の死傷事故を引き起こします。また、踏切支障も冬期間に多く発生する傾向にあり、一步間違えると大きな踏切事故に繋がります。

そこで冬型の踏切事故の防止を図り、安全安定輸送を確保するため「厳寒期の踏切事故防止キャンペーン」を下記により実施します。

実施にあたっては「踏切手前での確実な一旦停止」「早めのブレーキとスピードダウン」等、踏切安全通行を踏切通行者に繰り返し訴えて行くこととし、あわせて道路管理者へ踏切前後の適切な除排雪と踏切手前でのスリップ防止対策の強化を要請していきます。

記

1. 実施期間 平成25年1月21日（月）～1月30日（水）までの10日間
2. 実施内容 駅前、コンコース並びに踏切等で事故防止啓発用ポケットティッシュ及びリーフレットを通行者に配布し啓発を行う
3. 踏切事故防止啓発活動箇所

○日 時 1月22日（火）
実施箇所

函館駅前及び駅コンコース（函館市若松町12-13） 10:00～10:40

函館線 第二亀田道路踏切（函館市亀田町6） 13:30～14:00

※なお、当日の天候状態及び移動時間により、一部予定を変更することがあります。

また、踏切での啓発活動につきましては路面状況等により、啓発資材を配布しない場合があります。